



カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
環境	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>【生物多様性】</li> <li>・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している</li> </ul>	基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した材、製品、サービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮している</li> <li>・【予定】事業全体における生物多様性への依存と影響を把握し、負の影響を削減するための計画を策定する</li> </ul>						6.6							15				
	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>【3Rの推進】</li> <li>・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる</li> </ul>	基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場の資源利用の削減、再利用を推進している</li> <li>・海洋汚染につながるプラスチック製容器包装への対応として、使い捨てプラスチック使用の削減等を推進している</li> </ul>									12.5		14.1						
	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>【水の管理】</li> <li>・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる</li> </ul>	チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社の水源を含む水利用状況を把握し、使用量削減等の計画を策定している(2019年度策定)</li> </ul>						6.4	6.6										
	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>【環境マネジメントシステム】</li> <li>・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している</li> </ul>	チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO14001、エコアクション21を取得している(2019年度)</li> </ul>			3.9			6	7			12	13.3	14	15				
	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>【環境情報開示】</li> <li>・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している</li> </ul>	チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HP等で環境情報を公開し、環境報告書を発行している</li> </ul>										12.6							
	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>【再生可能エネルギーの利用】</li> <li>・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる</li> </ul>	チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場やオフィスへの太陽光パネルの設置と利用、グリーン電力の使用に努めている</li> </ul>							7.2					13					
	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>【天然資源の持続的利用】</li> <li>・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる</li> </ul>	チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認証製品(森林、パーム油、ゴム、コーヒー等プランテーションにより生産される原材料、天然水産物および養殖水産物)を利用している</li> <li>・非合法材を使用していないことの確認を行っている</li> </ul>										12.2	13	14	15				
公正な事業慣行	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>【汚職・贈収賄防止】</li> <li>・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している</li> </ul>	基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている</li> </ul>													16	16.5			
	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>【公正な競争】</li> <li>・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している</li> </ul>	基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施している</li> </ul>													16				
	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知的財産保護】</li> <li>・知的財産の保護に取り組んでいる</li> </ul>	基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特許、商標等知的財産権の取得・管理している</li> <li>・【予定】製品開発における特許侵害調査を実施する</li> </ul>								8.2	9								
	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>【個人情報保護】</li> <li>・個人情報を適切に管理している</li> </ul>	基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「個人情報に対する基本方針」を定めて公表し体制を整備している</li> <li>・社内研修を行い情報管理ルールを周知徹底している</li> <li>・EUの顧客データがある場合は、GDPR(EU一般データ保護規則)を踏まえた対応を行っている</li> </ul>																	
	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>【紛争鉱物】</li> <li>・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している</li> </ul>	チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社製品の原材料サプライチェーンを把握している</li> </ul>																	
	27	<ul style="list-style-type: none"> <li>【サプライチェーン管理】</li> <li>・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる</li> </ul>	チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取組状況の確認活動を行っている</li> <li>・Sedex(サプライヤーエシカル情報共有プラットフォーム)等を活用したサプライチェーン上のリスク管理を行っている</li> </ul>																	
	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加)</li> <li>・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している</li> </ul>	基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している</li> </ul>			3						8	9	10				17		
						<p>■28. 「パートナーシップ構築宣言」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宣言している企業は記載例のとおり記載してください。</li> <li>・支店・事業所単位の企業につきましては、貴社の代表者の名前で当宣言を作成・公表しているかご確認ください。</li> </ul> <p>⇒宣言している場合は 「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表していると記載。</p> <p>⇒宣言していないが、今後宣言する予定であれば 【予定】「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表していると記載</p> <p>⇒宣言しておらず、今後も宣言の予定はない。 非該当に☑していただき、宣言ができない理由を具体的な取組に記載してください。</p> <p>★当宣言について自社が宣言の対象か否か等、確認したい場合には、 <a href="https://www.biz-partnership.jp/">https://www.biz-partnership.jp/</a> 窓口へお問い合わせください。</p>															

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。 <https://www.biz-partnership.jp/>



上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

■「上記以外で設定した取組項目」  
 ・本様式で県が設定したチェック項目以外に、SDGsの達成に向けて取組を行っている場合に記載してください。行が足りない場合には、適宜、行を追加してください。

**【記載留意事項】**

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
  - 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
  - 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定